

フォレストニュース

植林が地球を救う
平成24年(2012)12月10日
No. 60
発行 高津啓洋

名古屋 2周年 感謝の集い

12月8日(土)
高津啓洋

代表理事を迎えて「大震災から学びのちの森づくり」と題して講演会を行いました。最初、主催者の挨拶で今年の活動報告。今年、支援して下さった方々に高津講師から記念品が渡されました。



アジアに植林目指し留学生と歓談

そして、講演で今は市民が行動を起こす時代なので、NPOを立ち上げて行こうと話され、地球環境の浄化の為に、1992年リオデジャ

ネイロでの第1回地球環境サミットで12歳の少女が訴えたスピーチを読み上げられ、聞いている皆が大変感動し、涙ぐんでいました。

この後、国際協力青年奉仕隊の活動を映像を通して見ながら、地球の緑を守る会の活動の素晴らしさを実感していました。又、講師の「自分の命は自分で守る」「自分の愛する人の命は自分で守る」為の有効な手段としてNPOを立ち上げ



るというやり方があると話され、皆納得していました。

その後、事務局からのお知らせとして募金箱の協力や、入金、引き落としのお願いをしてました。

次に高津講師の12月8日70歳の古希の誕生日のお祝いを皆で「Happy Birth Day To You」を2回歌いました。

また、カラオケグループ梅の会の12名が誕生日の祝歌を歌い、次に歌の先生が歌われました。そして、アンコールに応じて全員でもう1曲歌ってくれました。この頃には最高に盛り上がりました。

そして、息子の勝蔵がギターとオカリナで演奏を行い共感を誘っていました。

◎講師を囲んで親睦会を行いました。5名の外国人留学生(韓国1

名、モンゴル2名、インド1名、ネパール1名)が参加しました。そして、この集会の感想を聞きますと、皆地球環境の大切さを知り、植林の重要さを感じていました。そして、モンゴルでも植林をしたいと話し、皆でモンゴルに行って植林をしようということになりました。

そして、高津講師が留学生に日本留学の勇気を讃えながら励まされると、皆大変喜んで全員、握手をしながら終わりました。これからは若い青年も加わり新しい出発がなされようとしています。

(報告：地球の緑を守る会名古屋 山本力雄)

2013年カレンダー

2013年のカレンダーができました。一部100円の

各地で研修セミナーと懇話(白旗にて)

インドパナハの村にもボランティア隊による植樹が開始

2013 (平成25年)

ハラグアイの都市緑化プロジェクトもボランティア隊が活躍

植樹ボランティアはどんどん増えています

ハラグアイの美しい米々に囲まれて野鳥の楽園になっています

企業支援によって森が次々と拡大しています

未来に残そう緑の地球 世界に広げよう植樹の輪

1	2	3	4
Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat			
1 2 3 4 5	1 2	1 2	1 2 3 4 5 6
6 7 8 9 10 11 12	3 4 5 6 7 8 9	3 4 5 6 7 8 9	7 8 9 10 11 12 13

支援をお願いします。植樹啓蒙活動のために、ご活用ください。チバトの花を中心に、パラグアイ国のミンガグアス市での奉仕活動、様々な緑の会の活動の様子を載せています。

[お知らせ] 2013年もパラグアイでの植樹ボランティアを継続していきます。皆様からの温かい支援をお願いいたします。